

弊社が発行したZAIFトークンの今後の方針について

【ZAIFトークンとは？】

ZAIFトークンとは、2015年に弊社の認知とバリューの向上を目的として発行され、Zaifブランドの評判の指標となっている暗号資産です。

本来ZAIFトークンは、弊社が過去に運営していた暗号資産取引所のZaifによって、日本で初めて国内取引所にて取引ができる暗号資産として発行されたものでした。取引所の名称が小文字を含むZaifであるのに対して、トークン名称はZAIFとしているのは、まさに株銘柄のティッカーシンボルのように、Zaifブランドを象徴するものにしようという目的からです。

弊社では現在もトークンのメンテナンスとして定期的に見直しを実施しており、直近の技術的な改善予定として、2021年度第一四半期までにERC20プロトコルへの移行による安全性の向上と流動性の拡大、そして価値向上を見込んでおります。

なお、弊社が暗号資産取引所Zaifを株式会社Zaif（旧名：株式会社フィスコ仮想通貨取引所）に譲渡したため、ZAIFトークンの価値向上には、弊社主導のキャンペーンだけではなく、Zaifブランドの所有者との連携が有効です。よって、弊社とZaif暗号資産取引所の共同プロジェクトによって、その流動性と既存ホルダーの利益向上を目指すべく、先方との協議と検討を進めております。

それにより、弊社発行のトークン名称と、他社運営の暗号資産取引所の商標が一致しているという一見利益相反とも捉えられる状況を逆手に取ることによって、両者の実績と将来性を持って、既存トークンホルダーの利益保全に繋げたい所存です。

【今後の方向性について】

既存のトークンホルダーの利益向上を目的として、決済手段としての採用を推し進めます。そのためにも、Zaif暗号資産取引所での、簡単売買とZAIFトークン決済サービス対応を打診しております。

決済によってユーティリティ、すなわち使用可能性を高めることにより、ZAIFトークンの流動性と価値の向上が見込めます。それに加えて、弊社およびZaif暗号資産取引所との共同キャンペーンでの配布を検討することによって、トークンが循環しつつ、両者のブランドバリューと連動してトークン価値の向上に貢献し、その結果既存トークンホルダーの利益向上につながると考えております。

【2021年度までの予定】

我々が回避すべきは、既存ホルダーの利益を毀損することです。ZAIFトークンは、すでに18万人以上のホルダーがZaif暗号資産取引所の内外に存在しているため、その流通が滞ることは、業界全体の信用毀損にも直結する由々しき事態になりかねません。

Zaif取引所内 約18万人 約52億枚 約8.2億円
Zaif取引所外 約550人 約1.3億枚 約2,053万円
(2020年11月2日弊社調べ)

そのためにも、弊社はZAIFトークンの流通の継続に尽力することにより、日本国内で最も認知されている、企業発行のトークンとして、また、他社運営となるものの、業界で周知されているZaifブランドを象徴するトークンとして、暗号資産全体の普及に貢献して参ります。

また、近年取り沙汰されている、不安定なCounterpartyプロトコルのリスクを回避すべく、2021年度第一四半期までにEthereum上のERC20プロトコルへ移行することを計画致します。それにより、同プロトコルへ移行した先例にも見られますように、対応するアプリケーションやWebサービスの数が増大し、ZAIFトークンの流通と流動性が高まり、同時にその価値向上に繋がるものと考えております。

弊社は、今後もより一層ZAIFトークンの流動性向上を目指して、各種キャンペーンでの配布や利用を推し進めながら、国内唯一の、特定の登録取引所を象徴する暗号資産として流通を継続させ、弊社関連会社、連携するZaif暗号資産取引所、並びにトークンホルダーの利益向上と、暗号資産業界全体の価値向上に尽力してまいります。

テックビューロ株式会社 代表取締役
朝山貴生